

株式会社エフピコ × 特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟



株式会社エフピコ（以下「(株)エフピコ」）では、2010年から、知的障がいのある人たちとともに行うスポーツ競技であるフロアホッケー活動に積極的に取り組み、全国10拠点18チームで社員650名（うち障がいのある従業員約200名）が活動しています。練習の成果は、特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟（以下「日本FH連盟」）が主催・主管する大会で発揮していますが、このうち、エフピコ杯全日本フロアホッケー競技大会、ユニバーサルフロアホッケー中国四国大会～エフピコ杯～の2大会は、エフピコがメインスポンサーとなって開催する大会で、エフピコグループは、チームとして参加するだけでなく、社員がボランティアとして大会の運営に積極的に参加し、重要な役割を果たしています。

(株)エフピコと日本FH連盟は、2013年7月に「インクルージョン社会創造のための包括連携協定書」を取り交わし、その中では連携協力事項の1項目として、「(株)エフピコは、日本FH連盟主催の全国大会、ブロック大会の運営に、可能な範囲で、社員のボランティア参加を積極的に協力するものとする。」があげられ、2013年9月の第1回東京地区フロアホッケー交流大会では、ボランティアとして14名の社員が参加しました。全日本競技大会は2014年度の第9回大会から東京都において開催されるようになり、その時から(株)エフピコは、大会運営の実行委員会構成団体（構成団体：日本FH連盟、(株)エフピコ、きさらぎジュニア）の一員として参加してきました。参加のべ人数は次の通りです。

- ◆2013年9月：第1回東京地区フロアホッケー交流大会 14名
- ◆2014年10月：エフピコ杯第9回全日本フロアホッケー競技大会 30名
- ◆2015年10月：エフピコ杯第10回全日本フロアホッケー競技大会 58名
- ◆2016年10月：エフピコ杯第11回全日本フロアホッケー競技大会 49名
- ◆2017年10月：エフピコ杯第12回全日本フロアホッケー競技大会 72名



また中国・四国競技大会においても、2012年6月からエフピコグループ社員がボランティア参加しており、2017年2月開催の第6回ユニバーサルフロアホッケー中国・四国交流大会～エフピコ杯～のボランティア参加のべ人数は、117名です。大会運営におけるエフピコボランティアの役割は、案内部（受付・来賓対応）、会場部（会場利用計画・設営・案内板等設置・保守管理）、式典部（開閉会式の運営・表彰・司会）の3部の運営とDAL（Delegation Assistant Liaison：チームとともに行動して選手団のスケジュール管理、案内等を行うチーム付ボランティア）です。

大会開催の約4か月前から社内ボランティア運営事務局を立ち上げて大会本番に臨み、大会後は各担当部で反省点や改善案を出し合って日本FH連盟と共有し次回からの大会運営に活かしています。運営に参加した社員は、「選手をみていると、障がいの有無は何も関係ないのだと感じた。」「知的障がいのある選手と触れ合う中で自分自身が穏やかな気持ちになれた。」など、障がいの有無を超えた交流の素晴らしさを実感し、「以前より周りに目を配り、困っている人がいれば、やさしく声をかけられる人になりたいと思った。」との人間的成長、「皆で1つのことをやりとげるという貴重な体験ができた」等の達成感へとつながっています。さらにこの体験が仕事におけるチーム運営・参画の在り方に多くの気づきを与えているとともに、人間としての豊かさを深め、インクルージョン社会の考え方を広めることにも貢献しています。

第3回企業ボランティア・アワード受賞
(2018年2月23日)